

学びの広場

教育委員会委嘱委員

今月は本町の生涯学習推進の中核を担う

社会教育委員の活動について紹介します

【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

生涯学習「はじめの一步」の充実・推進をめざして

委員の紹介

松田町社会教育委員会議は、吉田恵美子議長、木口まり子副議長、吉田信男副議長をはじめ、学校、子ども会、自治会、PTA、体協、青少年指導員、スポーツ推進委員、公民館登録サークル、社会福祉協議会、老人クラブ、学識経験者の各代表14人の委員により構成されています。

定例会は平成25年度まで年4回の開催でしたが、充実を図るため、平成26年度から年6回開催し、社会教育に関する諸計画の立案と教育委員会からの諮問についての調査研究と答申等に取り組んでいます。



平成元年に文部省から生涯学習モデル地区指定

本町は、生涯学習社会構築の出発点である「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」が施行される1年前の平成元年度に、文部省(当時)と神奈川県教育委員会から生涯学習モデル地区に指定され、積極的に社会教育(生涯学習)に取り組まれました。当欄「学びの広場」も平成2年5月から作成され25年間の歴史を重ねています。

社会教育委員会議の最近の活動としては、平成25年度に「生涯学習サポートセンター」の設置について「答申し、平成26年10月、町立公民館内に「生涯学習サポートセンター」はじめの一步」が開設されました。



現在の活動

- ① 今年度の調査・研究課題の運営について
- ② 町文化祭について
- ③ 子どもの居場所づくりについて

生涯学習サポートセンター「はじめの一步」については、「情報収集・情報提供・相談・交流」を核とし、着実に運営されていますが、より多くの人への周知・活用が課題となっています。

町文化祭については、昨年度から「参加体験型のコーナー」を設けるなど活性化を図っています。今年度は、青少年指導員による「ペーパークラフト体験」、舞台では小田原マーチングバンドと立花学園軽音楽部の出演など新しいプログラムを取り入れました。



初出演の小田原マーチングバンド 迫力ある演奏

子どもの居場所づくりについては、地域の教育力の向上を目的に文部科学省が提唱しています。今年度は、松田小学校、寄小の全学年1クラスを抽出し「児童の学校以外の過ごし方に関するアンケート」を実施し、現在集計を行っています。また、松田小学校内の「学童保育」の様子を委員全員で見学に行くなど、子どもの居場所づくりの研究に一歩踏み出したところと

松田惣領・庶子境道コース(その1)

神山清水の大和屋さんの前から小田急線の踏切と籠場橋を渡り、延命寺の前から、松田駅前信号機付近「筆屋さん」の前のやや狭い道を進み、JR御殿場線の矢倉沢踏切を渡り直ちに右折し、谷津の公民館の前に来ます。此処は薬師堂で室内には薬師如座像が安置されています。

此処を左折し小学校の運動場の脇を通り、当時松田唯一の高級旅館・巖根(現プール)の前や寒田神社の参道に出る道筋は、元禄7(1694)年に小田原藩からの通達による、松田惣領と庶子の境道で、此処から十文字橋までの道筋です。この旅館・巖根は御殿場線開通以後、藤棚庭園と鮎料理等で人気を呼び、道了尊参詣者等で繁盛したそうです。ご主人は大名行列の初代師匠・渋谷小太郎さんです。また「矢倉沢踏切」の

松田の文化財探訪



《矢倉沢往還5》
文化財保護委員 隆 草門

名については、当時の踏切名はその踏切のある場所の字名か、近くにある歴史又は公的建物の名を命名している様に窺えます。それは松田駅から最寄り駅までを見ると理解できます。上り方面は、町屋、金手、地藏、学校。一方、下りは第一庶子、第二庶子、桜観音、村雨です。矢倉沢から程遠いこの場所の踏切名に、なぜ特異な命名を行なったのか?推定として東海道本線(現・御殿場線)の開通(明治22年)前から、我が国の最大級の東海道の脇街道として名を馳せた、この矢倉沢往還が存在していたためと思います。

本来の考え方による当踏切名は「松田」か「惣領」踏切が妥当だと思います。なお、元の踏切は現在の踏切から約20m位山北寄り、昭和44(1969)年5月に廃絶されています。(写真)



矢倉沢往還の道筋
本町内は時代により矢倉沢往還の道筋が異なっているため3コースとも表示します